

実施計画事業名		小中学校各種大会等補助事業			評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 学校教育課			課長(主幹)名	青山 等		
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	2	時代に即した学校教育の推進					
	施策	2	確かな学力の定着を図ります					
	関連施策							
現状と課題	市内中学校の球技大会への運営費のほか、全道及び全国規模の大会に出場する児童生徒等の参加経費を補助しているが、これら各種大会への出場が児童生徒の活動の励みや貴重な経験となっている。							
目的	学校教育活動として行う体育・文化活動の向上を図る。							
5ヶ年開の 施策展開	①小中学校における全道及び全国規模の運動競技又は文化的行事に出場する児童生徒及び引率者に係る参加経費を補助する。 ②稚内市中学校体育連盟球技大会及び新人球技大会の運営費を補助する。							
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度
	小学校・中学校各種大会への出場者数		人		目標	264	264	264
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度
	稚内市中学校体育連盟が主催する大会の参加者数		人		目標	1,100	1,100	1,100
事業費の実績	説明		補助を受けて全道大会等へ出場した参加児童・生徒の延べ人数		実績	212	156	
	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度
	小学校各種大会への出場種目		種目		目標	1	1	1
	説明		補助を受けて全道大会等へ出場した種目の数		実績	1	1	
	中学校各種大会への出場種目		種目		目標	12	12	12
	説明		補助を受けて全道大会等へ出場した種目の数		実績	11	9	
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績			単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	6,556	4,094	7,500		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	0	0			
	一般財源		千円	6,556	4,094	7,500		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.06	0.06	0.06		
人件費(B)		千円	416	407	407			
計(A+B)		千円	6,972	4,501	7,907			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 各種大会で全道大会への出場権が得られなかったため。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 引き続き市内中学校の球技大会への運営費のほか、全道及び全国規模の大会に出場する児童生徒等の参加経費を補助し、学校教育活動として行う体育・文化活動の向上を図る。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--